

旭川市民文化会館運営審議会会議録(要旨)

会議名	令和元年度 第2回旭川市民文化会館運営審議会
開催日	令和元年8月22日 午後6時30分から午後7時30分まで
出席委員	委員15名のうち13名出席 青山委員, 五十嵐委員, 江口委員, 大沼委員, 児玉委員 坂本(秀山)委員, 坂本(力)委員, 桜田委員, 長崎委員, 仁木委員, 水野委員, 南委員, 宮本委員
事務局	5名出席 社会教育部長, 文化ホール担当課長, 市民文化会館長, 市民文化会館主査1名, 主任1名

会議の公開非公開の別 公開

傍聴者数 0人

1 開会

2 委嘱状交付

3 社会教育部長挨拶

4 議事

(1) 正副会長の選出

各委員の承認のもと、事務局案を諮り、「会長 坂本(力)委員、副会長 佐藤委員」を選出し、承認を得た。

会長：

それでは、「議事(2) 平成30年度市民文化会館利用状況等」について、事務局から説明願います。

事務局：

資料に基づき説明。

各委員からの質問、意見等は特になし。

同様に、次の議事についても事務局が資料に基づき説明。

議事(3)平成30年度市民文化会館決算見込概要等及び令和元年度市民文化会館予算概要等について

議事(4)平成30年度自主文化事業実績等及び令和元年度自主文化事業概要等について

議事(5)旭川市教育委員会の点検・評価について

議事(6)一般会計の使用料及び手数料等に係る消費税及び地方消費税の転嫁方針について
議事(7)その他

議題(7)については、当日追加配布資料「旭川市民文化会館に関するアンケート調査の結果について」をもとに、事務局から説明。

事務局説明の主な内容：

アンケート結果から、文化会館の整備について市民の意見は「大規模改修」と「建替え」がほぼ同数となっており、現時点でどちらかの意見を尊重し方向性を決定するのは難しい状況であることを説明。

「分からない」を回答した市民も一定数いることを踏まえ、最終的な決定を行うまでにより丁寧な市民に対する周知活動が必要であることも委員に報告。

委員：

決算見込等から判断すると、今後も文化会館の経年劣化に伴い、補修費が増加していくのではないか。

これからも建替えなしに文化会館を使用し修繕を続けていくとした場合、特にこの部分の補修に費用がかかる等の予定はあるのか。

事務局：

補修費には、通常の修繕費と、予め予定している屋上防水工事等の工事費が含まれております。

令和元年度分につきましては、レストラン解体工事等、多額の費用がかかる工事が含まれているため、結果的に補修費の予算額が増となっている面があります。

長期的な修繕計画は作成しておりますが、臨時的なもので当初の予定にない修繕費が必要となる場合もありますので、全体としては年度により予算額が前年度より増となる場合もあれば減となる場合もあります。

当初予定にない臨時的修繕内容を含めると今後の補修見込を考えていくのは難しい面がありますが、予定している各修繕の状況を判断し優先順位を取捨選択しながら、より適切な施設維持を実施していく予定です。

会長

他に意見、質問等がありますか。

それでは、これで「令和元年度 第2回旭川市民文化会館運営審議会」を終了します。

以上